



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日
東

上場会社名 美津濃株式会社 上場取引所
 コード番号 8022 URL <https://corp.mizuno.com/jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 明人
 問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 福本 大介 (TEL) 06-6614-8465
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	28,657	△32.0	△1,842	—	△1,695	—	△1,097	—
2020年3月期第1四半期	42,155	△1.4	1,963	41.1	1,800	35.3	1,308	64.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,484百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 915百万円(137.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△43.07	—
2020年3月期第1四半期	51.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	151,769	97,181	63.8
2020年3月期	154,378	99,255	64.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 96,799百万円 2020年3月期 98,883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の第2四半期末及び期末の配当については、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため、記載しておりません。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため、記載しておりません。詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	26,578,243株	2020年3月期	26,578,243株
2021年3月期1Q	1,098,442株	2020年3月期	1,113,562株
2021年3月期1Q	25,472,593株	2020年3月期1Q	25,386,833株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済・社会活動が大きく制限され、極めて厳しい状況で推移しました。世界経済も同様の状況にあり、経済活動の段階的な再開や各種政策効果による持ち直しが期待されつつも、引き続きこの厳しい状況は継続すると見込まれています。

このような状況の中、当社グループは、個人消費の大幅な落ち込みやスポーツイベント・競技大会の開催中止や延期、直営店や運営施設の休業等の影響により大幅な減収となりました。損益は、仕入や経費の抑制に努めたものの四半期純損失となりました。

これらの結果、当社グループの経営成績は、売上高は、134億9千8百万円減収（前年同期比32.0%減）の286億5千7百万円となりました。営業損失は18億4千2百万円（前年同期は19億6千3百万円の営業利益）となりました。経常損失は16億9千5百万円（前年同期は18億円の経常利益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は10億9千7百万円（前年同期は13億8百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 日本

日本は、拡大しているワークビジネスは好調を維持したものの、野球やゴルフ、サッカーなどのスポーツ品販売事業は、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛などによる個人消費の落ち込みやスポーツイベント・競技大会の開催中止などにより大幅な減収となりました。これまで堅調に推移していた自治体の指定管理施設の運営や工事、体育器具の販売を行うスポーツ施設サービス事業においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により運営施設が休館となったことなどにより減収となりました。

この結果、売上高は112億5千3百万円減収（前年同期比39.7%減）の171億2千5百万円、営業損益は21億3千1百万円の営業損失（前年同期は9億5千8百万円の営業利益）となりました。

② 欧州

欧州も新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。欧州各国通貨が下落したこともあり大幅な減収となりました。

この結果、売上高は10億4千7百万円減収（前年同期比28.6%減）の26億2千万円、営業損益は2億8千8百万円の営業損失（前年同期は8千5百万円の営業利益）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における欧州各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

英ポンド：132.81円（前年同期 140.91円）、ユーロ（欧州支店）：118.90円（前年同期 123.30円）、ユーロ（子会社）：120.66円（前年同期 125.72円）、ノルウェークローネ：11.56円（前年同期 12.87円）

③ 米州

米州は、当第1四半期連結会計期間末にかけて新型コロナウイルス感染症の流行が拡大したものの、ゴルフクラブを中心に好調に推移していたことにより米国では現地通貨ベースで増収でしたが、現地通貨の下落等により減収となりました。なお、事務所移転による固定資産売却益5億7千2百万円を特別利益に計上しています。

この結果、売上高は1億8千8百万円減収（前年同期比3.3%減）の55億2千2百万円、営業利益は1億3千2百万円減益（前年同期比28.6%減）の3億3千万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における米州各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

米ドル：109.20円（前年同期 110.48円）、カナダドル：81.16円（前年同期 82.86円）

④ アジア・オセアニア

アジア・オセアニアは、特に韓国が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。他の拠点も影響を受けたことと、各国通貨の下落もあり減収となりました。

この結果、売上高は10億7百万円減収（前年同期比22.9%減）の33億8千8百万円、営業利益は1億8千5百万円減益（前年同期比48.8%減）の1億9千4百万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間におけるアジア・オセアニア各通貨の換算レートは以下のとおりでありま

す。

台湾ドル：3.62円（前年同期 3.59円）、香港ドル：14.05円（前年同期 14.09円）、
中国元：15.54円（前年同期 16.36円）、豪ドル：71.99円（前年同期 78.79円）、
韓国ウォン（100ウォンあたり）：9.14円（前年同期 9.85円）、
米ドル（シンガポール）：109.20円（前年同期 110.48円）

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ26億8百万円減少し、1,517億6千9百万円となりました。受取手形及び売掛金が115億7千6百万円減少した一方、現金及び預金が18億3千1百万円、商品及び製品が46億4千2百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

負債は、前連結会計年度末に比べ5億3千5百万円減少し、545億8千7百万円となりました。支払手形及び買掛金が35億8千3百万円、未払金及び未払費用が18億2千1百万円それぞれ減少した一方、短期借入金が35億2千8百万円増加したことが主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ20億7千3百万円減少し、971億8千1百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.1%から63.8%へと0.3ポイント減少しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

（連結業績予想について）

当社グループは、世界各地に販売拠点や生産拠点を置くなど積極的に海外進出を推進しており、当社グループの販売や生産の拠点が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、一部において一時的な操業の中断や物流の遅延などの発生が見られました。また、顧客における経営状況の変化などによる発注計画の見直しなどにより、当社グループの業績及び財政状態に影響を受けております。

新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として不透明であり、現時点では未だ合理的な算定が困難であるため、2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結業績予想については未定といたします。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

（配当予想について）

2021年3月期の業績予想を未定としたため、配当予想につきましても未定といたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,956	18,788
受取手形及び売掛金	39,210	27,634
商品及び製品	32,097	36,739
仕掛品	637	716
原材料及び貯蔵品	2,766	3,013
その他	4,572	5,767
貸倒引当金	△499	△547
流動資産合計	95,742	92,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,529	16,124
土地	15,985	16,307
その他（純額）	3,125	3,149
有形固定資産合計	35,640	35,580
無形固定資産		
のれん	2,008	2,242
その他	6,430	6,315
無形固定資産合計	8,439	8,557
投資その他の資産		
投資有価証券	5,712	5,897
繰延税金資産	4,579	4,951
退職給付に係る資産	2,000	2,417
その他	2,772	2,754
貸倒引当金	△510	△504
投資その他の資産合計	14,555	15,517
固定資産合計	58,635	59,656
資産合計	154,378	151,769

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,600	13,017
短期借入金	7,630	11,158
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,831
未払金及び未払費用	9,896	8,074
未払法人税等	879	239
返品調整引当金	431	392
その他	1,910	2,027
流動負債合計	38,349	36,740
固定負債		
長期借入金	8,331	9,619
繰延税金負債	1,823	1,652
再評価に係る繰延税金負債	2,296	2,296
債務保証損失引当金	76	96
退職給付に係る負債	508	452
資産除去債務	266	266
その他	3,470	3,463
固定負債合計	16,773	17,846
負債合計	55,122	54,587
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,137	26,137
資本剰余金	31,821	31,816
利益剰余金	41,311	39,580
自己株式	△2,158	△2,109
株主資本合計	97,111	95,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,315	1,449
繰延ヘッジ損益	224	125
土地再評価差額金	29	29
為替換算調整勘定	797	320
退職給付に係る調整累計額	△594	△550
その他の包括利益累計額合計	1,771	1,374
非支配株主持分	372	382
純資産合計	99,255	97,181
負債純資産合計	154,378	151,769

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	42,155	28,657
売上原価	24,212	17,388
売上総利益	17,942	11,268
販売費及び一般管理費	15,978	13,111
営業利益又は営業損失(△)	1,963	△1,842
営業外収益		
受取利息	31	36
受取配当金	145	93
為替差益	—	64
助成金収入	—	78
その他	22	50
営業外収益合計	199	323
営業外費用		
支払利息	59	46
売上割引	54	49
為替差損	207	—
その他	41	80
営業外費用合計	362	176
経常利益又は経常損失(△)	1,800	△1,695
特別利益		
固定資産売却益	1	572
投資有価証券売却益	14	—
退職給付制度改定益	177	—
特別利益合計	194	572
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	34	1
投資有価証券評価損	—	6
店舗休止等損失	—	※ 231
債務保証損失引当金繰入額	—	19
その他	—	1
特別損失合計	34	261
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	1,961	△1,383
法人税等	640	△300
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,321	△1,083
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	14
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,308	△1,097

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,321	△1,083
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△298	134
繰延ヘッジ損益	△213	△99
為替換算調整勘定	△94	△481
退職給付に係る調整額	200	44
その他の包括利益合計	△405	△401
四半期包括利益	915	△1,484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	904	△1,494
非支配株主に係る四半期包括利益	11	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 店舗休止等損失

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの各種要請等を踏まえ、一部の直営店舗、運営及び運営受託しているスポーツ施設等の臨時休業を実施いたしました。当該臨時休業中に発生した固定費(人件費・地代家賃・減価償却費等)を店舗休止等損失として、特別損失に計上しております。